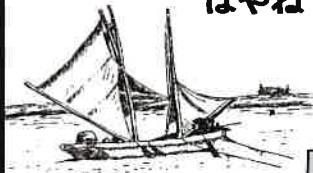


はやね はやおき 朝ごはん テレビを止めて外遊び

三角中

<あいさつ えがお おもいやり>



平成31年度
別海町立野付小学校
学校だより No.2
平成31年4月26日
発行責任者
校長 奥村 繁義

「子どもを認める・褒める」

暑さ寒さを繰り返しながら、日に日に春の訪れを感じるようになってまいりました。桜前線も少しずつ北上していますので、本校の千島桜が満開になる楽しみが日増しに強まってまいりました。学校では休み時間になると、天気の良い日は外に出て走り回る子、体育館で鬼ごっこやボール遊びをする子、フリースペースで卓球・一輪車・竹馬・けん玉などをする子、図書室や教室で読書をする子、より広範囲で子ども達の興味や関心によってそれぞれが楽しく元気に遊ぶ姿が見られるようになってきました。

4月8日に新入生を迎えるスタートした平成31年度も、はや1ヶ月が過ぎました。この間、PTA総会・授業参観・懇談会等がありましたが、多くの方に参加をいただきましてありがとうございました。保護者の皆様の学校に対する関心の高さや積極的な協力体制を伺うことができ、大変嬉しく感じています。子ども達の健やかな成長をめざして、今後もご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

「子どもを褒めて伸ばす」ことの大切さを、最近はよく見聞きます。以前は、親のしつけというと子どもをきちんと叱ることが主流でしたが、叱られてばかりいた子どもは、自己肯定感が持てなくなる弊害がでてきたためと考えられます。

子どもができたことに対しては、「すごい、よく頑張ったね！」、手伝いなどをやってくれたときは、「ありがとう、助かったよ！」などと子ども達を認めて、しっかり褒めて、子どもの能力を伸ばします。子どもを叱る場合でも、悪いところだけではなく、良いところを褒めてフォローします。「自分が遊びたくて他のお友達に順番を譲らないのはいけないこと。順番は絶対に守らないとダメ！」「でも、あなたが本当はすごく優しいことを知っているからね。」こんな風に言葉をかけられた子どもは、親が自分の事をしっかり見てくれていると安心できます。

私も朝や休み時間になると校舎内を回りながら、子どもたちを褒める機会を探し求めています。特に4月は、1年生のお世話を優しくしてくれたり、下級生に対する思いやりのある行動を目にすることがあります。そんな時、「えらいね！」とか「ありがとう！」と声をかけると決まって笑顔が返ってきます。褒められると誰でも嬉しくなってしまうものです。良い経験だと脳に記憶して、その後も再び褒められるために頑張ることができます。やりなさいと怒られるより、よくできたねと言われる方が嬉しいので、怒られるとやらない人でも褒めてあげれば動く人が大勢います。これからも「子どもたちを褒めて伸ばす」テクニックを磨いていこうと考えています。

校長 奥村 繁義



4月19日 たてわり班集会



4月21日 授業参観